



学園だより



看護学科2年、清水さんが2023年国際ソロプチミスト^{注)} アメリカ日本中央リジョンにおいて「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」のリジョン賞を受賞し5月17日に本校で授与式が行われました。この賞は、家庭を養いながら専門学校などに通い、キャリアアップを目指す女性の支援を目的にしています。清水さんは「患者さんに寄り添える看護師になれるよう、子育てと両立しながら頑張りたい」と意欲を語っていました。

授賞式風景



国際ソロプチミスト富山、前会長玉木前会長（左）
賞状を手にする清水さん（中央）と国際ソロプチミスト富山、正岡会長（右）

注) 国際ソロプチミストとは、理解促進、提唱、活動を通じて女性と女兒の生活と地位を向上させるための奉仕活動を行い、A Global Voice for Women を掲げ、世界の様々な女性の地位向上を目指す組織。ソロプチミスト「SOROPTIMIST」という言葉は「女性にとって最良のもの」を意味し、ラテン語の「SOROR(sister/woman)」と「OPTIMA(the best)」由来する。

准看護学科 1 年生は、バイタルサイン測定、寝衣交換、全身清拭、ベッドメイキング、陰部洗浄、ベッド上での移動・移乗、ガウンテクニックなどの感染対策など、多くの学内演習に臨んでいます。座学と比較すると学生は楽しそうに生き生きした表情で、安全・安楽に援助を提供できるよう、技術の修得に励んでいます。

2 年生は現在毎週火曜日～木曜日は臨地実習に臨んでいます。臨地実習指導者の指導のもと、受持患者とコミュニケーションをとり、情報収集を行い、そこから必要な援助を考え実施しています。月・金曜日は登校し、実習の振り返りをしたり授業を受けたりしています。

ベッドメイキング



シーツが崩れないよう三角の角をつくります



きれいな三角ができました

ベッド上での移動・移乗



ベッド上から端座位にします

足をおろしてから上体を起こすのがポイント

看護学科1年生は、5月28日に「社会福祉」講義の一環として難病患者さんの体験談を聴きました。これは、富山県社会福祉協議会が実施している難病患者支援啓発事業のひとつです。医療職等を目指す学生を対象に、当事者が体験を伝えることにより難病の理解と患者支援の啓発を目的として実施されています。学生は、はじめに富山県難病相談・支援センターの谷崎志津子氏より難病に関する支援について説明を受けました。その後、当事者1名の方から体験を語っていただきました。聴講後の学生からは、「病気になっても自分にできることを考え、目標をもって過ごされることの大切さを感じました。」「実際に難病の人の話を聞いて、文章（教科書）では分からない温度のようなものを感じることができました。」などの感想が寄せられました。



講義風景

《学校行事》

8 / 5 (月) 自衛消防訓練 (職員)

8 / 19 (月) 始講

8 / 20 (火) 准 2 年生母子看護実習 II

(独立行政法人国立病院機構富山病院) 開始

9 / 4 (水) 准 1 年生戴灯式

9 / 7 (土) 看護研修会 (糖尿病管理研修)

9 / 9 (月) ~ 11 (水) 准 1 年生 基礎看護実習 I

9 / 13 (金) 准 看 1 年生富山県看護教育機関連絡協議会主催

第 30 回 学生交流会 (小杉ラポール)

看 3 年生実習終了 2 年生基礎看護実習 I 開始

9 / 18 (水) 前期成績会議

9 / 24 (月) 准 1 年生基礎看護実習 II 開始

9 / 26 (木) 准 看 ナイトオープンキャンパス

9 / 27 (金) 後期授業料納入締め切り

9 / 28 (土) 准(看)オープンキャンパス